
天から降りたメッセージボトル

森川夏希

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

天から降りたメッセージロボット

【Nコード】

N5978Y

【作者名】

森川夏希

【あらすじ】

主人公の花恋は、帰り道に空から降ってきたビンを拾う。

そのビンの中には手紙が入っていて……。

【プロローグ】

「ふいゝ、今日も疲れたなあゝ。」

少女は伸びをしながら言った。

少女の名は桜井花恋。さくらいかれん テニス部所属の中学1年生だ。

髪はウェーブのかかった茶髪で、大きい瞳。

ハーフとよく言われるくらいである。

「花恋、バイバイ!!」

花恋は、ニコリと微笑み返しながら手を振って学校を出た。

空には、赤い夕日がいつの間にか出ていて、花恋をまぶしく照らしていた。

「まぶしいな。」

何気なく手をかざしたその瞬間、突風が花恋を襲った。

「うわぁ!!」

いきなり吹いてきた風に、びっくりしながら言った。

「ふうゝ。」

とまったと同時に……。

「カッン……。」

何かが花恋の頭にぶつかった。

「……?」

（いったいなあゝ。）

頭を支えながら、花恋は後ろを向いた。

「なにこれ……。」

そう。後ろには、ビンがあった……。

（だれかのいたずらかしら？それとも、さっきの風で飛ばされたのかな？）

そんなことを思いながら、花恋はビンを眺めた。
青く透明なビンで、ビンには羽が描かれていた。
そして中には・・・。

「手紙……？」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5978y/>

天から降りたメッセージボトル

2011年11月18日06時13分発行